

COM200 メディア論

4年 1,2クォーター

担当教員	丸山 真央
授業形態	講義
アクティブ・ラーニング	要素を含む
単位数	2

授業概要

新聞やテレビなどの従来型メディアおよびインターネット上で展開する種々の新メディアを含めて、メディアの定義と類型、メディアの社会的機能、メディア情報の効果や影響力などに関する基礎的理解を得る。その上で、地方新聞、ローカルテレビ局、CATV、コミュニティラジオなどの地域密着型メディアについて、地域社会における役割や機能、地域づくりとの関わりを具体的事例に即して学ぶ。

到達目標

- ・メディアというテーマとそれを読み解く学問領域について、豊かな知識を獲得し、理解する。
- ・領域横断的な思考力と、論理的思考力を涵養する。
- ・本講義で扱った分析概念を用いて日常生活世界を考察する力をつけることを目指す。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

- 1『現代メディア史』 佐藤卓己 岩波書店
- 2『改訂版 21世紀メディア論』 水越伸 放送大学教育振興会
- 3『地域メディアを学ぶ人のために』 田村紀雄ほか編 世界思想社
- 4『新訂 新聞学』 浜田純一ほか編 日本評論社

授業の方法

この授業は担当教員の講義形式で進める。

成績評価

講義内容の理解度を問う最終レポート（50%）、リアクションペーパー・小課題（50%）の双方で、総合的に評価する。

成績

- 50% リアクションペーパー・小課題
- 50% 最終レポート

授業スケジュール

情報社会は近年になって成立したものではない。個々のメディアの成立とそれに伴う社会編成の累積のうえに成り立っている。したがって、この授業では、近代から現代に至るメディア変容とその社会的な意味を見直し、今日の情報社会の特質を浮き彫りにしたうえで、メディアとジャーナリズムの現状と課題を、とくにローカルメディア、ローカルジャーナリズムに焦点をあてて概観する。

第1回：

「メディア」とは何か

第2回：

メディアの歴史社会学

第3回：

地域とメディア①：コミュニティメディア概論

第4回：

地域とメディア②：地方新聞の現状と課題

第5回：

地域とメディア③：地方テレビの現状と課題

第6回：

地域とメディア④：農村有線放送からCATV、コミュニティラジオまで

第7回：

デジタル時代の地域とメディア

第8回：

デジタル時代のメディアリテラシー

第9回：

災害時におけるメディア①：新聞の場合

第10回：

災害時におけるメディア②：テレビ・ラジオの場合

第11回：

メディアとジャーナリズム①：ジャーナリズムとは何か

第12回：

メディアとジャーナリズム②：ジャーナリズムの諸問題

第13回：

ローカルジャーナリズム①：コミュニティメディアと地域権力構造

第14回：

ローカルジャーナリズム②：その課題と展望

第15回：

地域・メディア・ジャーナリズムの未来——まとめに代えて

事前・事後学習

- ・事前学習としては、参考書に目を通しておくこと。（1時間程度）
- ・講義聴講の後に、講義された内容・配布資料と共に対応する教科書・参考資料等の項目について理解を深めること（復習）。（1時間程度）